

## 平成30年度 子宮がん検診の実施結果概要

※平成16年4月末より、がん検診の指針が「30歳以上逐年検診」から「20歳以上隔年検診」へ改正。

※平成20年度より、対象者数の把握方法を推計対象者による算出に変更。

推計対象者数＝市町村人口－(就業者数－農林水産業従事者数)

人口は平成27年国勢調査結果利用

※受診率＝(当該年度受診者+前年度受診者－2年連続受診者)÷対象者数 により算出。

※受診者数及び受診率については、20～69歳を対象とした数値である。下段に20歳以上を対象とした数値を参考値として記載。また、それ以外は20歳以上を対象とした数値である。

※樫葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村は、平成22国勢調査による市町村人口が公表されていないため7町村については、以下の数値を用いている。

①「総人口(4月1日現在)」は、平成30年4月1日現在の推計人口(県統計課作成)による

②「対象者数」は、平成22年国勢調査の人口を用いて算出したものである

※平成30年度 福島県生活習慣病検診等管理データを一部改変(R2年9月)

### 1 受診者及び受診率(20～69歳)

(表1)部位別

	年齢区分	平成29年度 (a)		平成30年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a)	
		受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)
子宮頸部	20～69歳	52,474	42.56	51,701	41.91	▲ 773	▲ 0.65
	20歳以上 (参考)	64,917	25.91	64,485	25.92	▲ 432	0.01

・子宮頸部がん検診の受診者数は、前年度より773名減少し、受診率は0.65ポイント減少した。

(表2)集団・施設検診別(20～69歳、20歳以上、子宮頸部がん検診のみ)

	年齢区分	平成29年度 (a)		平成30年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a)	
		受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)
集団検診	20～69歳	14,026	10.70	12,680	10.53	▲ 1,346	▲ 0.17
	20歳以上 (参考)	18,969	7.05	17,674	7.01	▲ 1,295	▲ 0.04
施設検診	20～69歳	38,448	31.86	39,021	31.38	573	▲ 0.48
	20歳以上 (参考)	45,948	18.86	46,811	18.92	863	0.06

・20～69歳の集団検診、施設検診ともに、前年より受診率が減少している。

### 2 要精検率、精検受診率(20歳以上)

(表3)部位別

	平成29年度 (a)		平成30年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a)	
	要精検率 (%)	精検受診率 (%)	要精検率 (%)	精検受診率 (%)	要精検率 (%)	精検受診率 (%)
子宮頸部	1.19	91.33	1.10	88.20	▲ 0.09	▲ 3.13

・要精検率は0.09ポイント減少、精検受診率は3.13ポイント減少している。

(表4)集団・施設検診別(20歳以上、子宮頸部がん検診のみ)

	平成29年度 (a)		平成30年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a)	
	要精検率 (%)	精検受診率 (%)	要精検率 (%)	精検受診率 (%)	要精検率 (%)	精検受診率 (%)
集団検診	0.78	94.59	0.81	85.31	0.03	▲ 9.28
施設検診	1.36	90.56	1.22	88.93	▲ 0.14	▲ 1.63

・精検受診率は、集団検診で9.28ポイント減少し、施設検診では1.63ポイント減少している。

### 3 がん発見数・がん発見率(20歳以上)

(表5)部位別

	平成29年度 (a)		平成30年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a)	
	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)
子宮頸部	12	0.02	9	0.01	▲ 3	▲ 0.01

・がん発見数、発見率ともに前年よりも減少している。

※平成29年度集計より子宮頸がん検診で発見された子宮体がんはがん発見数に計上していない。

(表6)集団・施設検診別(20歳以上、子宮頸部がん検診のみ)

	平成29年度 (a)		平成30年度 (b)		前年度からの伸び状況 (b-a)	
	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)	がん発見数 (人)	がん発見率 (%)
集団検診	2	0.01	1	0.01	▲ 1	0.00
施設検診	10	0.02	8	0.02	▲ 2	0.00

・がん発見数は、集団検診・施設検診ともに前年よりも減少している。発見率は横ばいで推移している。

### 4 陽性反応的中度

(表7)子宮頸部がん検診のみ

	平成29年度 (a)	平成30年度 (b)	前年度からの伸び状況 (b-a)
20～69歳	1.37	1.03	▲ 0.34
20歳以上	1.55	1.26	▲ 0.29

### 5 その他参考(20歳代の受診状況・結果)

・平成16年4月末の指針改正により、20歳以上が検診対象となったため、20歳代の受診状況を以下にまとめる。

(表8)20歳代(20歳～29歳)、子宮頸部がん検診のみ

	平成23年度 (参考)	平成24年度 (参考)	平成25年度 (参考)	平成26年度 (参考)	平成27年度 (参考)	平成28年度 (参考)	平成29年度 (a)	平成30年度 (b)	前年度からの 伸び状況 (b-a)
受診者数(人)	6,142	6,280	5,310	6,412	4,489	3,611	3,318	3,261	▲ 57
受診率(%)	34.5	33.7	21.70	34.4	31.3	28.9	25.6	24.3	▲ 1.3
要精検率(%)	2.1	2.4	2.3	2.6	3.0	3.3	3.2	3.6	0.4
精検受診率(%)	90.8	88.2	91.9	86.8	85.1	90.0	85.0	83.1	▲ 1.9
がん発見数(人)	8	4	2	0	0	1	1	0	▲ 1
がん発見率(%)	0.13	0.06	0.04	0.00	0.00	0.03	0.03	0.00	▲ 0.03

・要精検率は増加傾向で、受診者数、受診率、精検受診率は減少傾向である。